

# 国語科学習指導案

## 指導事項

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかいたりすること（C（1）ウ）

### 今回の取り組み（挑戦）

フレームリーディングという文章の内容や構造を丸ごととらえる読みの手法を活用し、教師や子どもがワクワクしながら授業に取り組めるよう、授業改善をしていく。

#### 1 教材名 まんがの方法（読む：説明文）

#### 2 目標

文章を読んでまんがの表現方法やおもしろさを理解し、まんがに対する自らの考えの変化を文章に表す。

#### 3 学習計画

一次：教師の範読を聞いたり、感想をまとめたりする。①

二次：まんがの方法がいくつ紹介されているか考え、その説明が書かれている段落を整理する。①

まんがの方法をもとに文章の構成をとらえる。①

作者の表現の工夫について考える。①

三次：まんがに対する自分の考えを3段落構成で書く。①

#### 4 6時間予定（教科書会社の計画 5時間）

読み取り 4時間

書く 1時間

伝国とテスト 1時間

#### 1時間目 教師の範読を聞いたり、感想をまとめたりする。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本単元のめあて「まんがの表現方法を理解し、まんがに対する考えを深めましょう」を確認する。	3	・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して視写する習慣が身に付くように、2分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。	
2 本時のめあて、「おおよその内容や感想をまとめよう」を視写する。	2	・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。	

3 本文の範読を聞く。	8	・範読を聞かせる際に、聞き終わった後に、大体的内容や思ったことをノートにまとめることを伝え、範読を聞くことの目的意識をもたせる。	
4 イメージマップにおよその内容と思ったことをまとめる。	10	・文章でまとめることに抵抗感を感じない児童もいると思うので、イメージマップを活用する。 ・机間支援の際には、内容についての他に、説明文の構成について書かれているものがあつたら、意図的指名を行う。その際、目の付け所の多様さを賞賛する。	・イメージマップにおよその内容と感想をまとめている。(ノート、つぶやき) 読む
5 形式段落に番号をつけたり、問いや答えについて考えたりする。	10	・段落について確認する。段落とは「文章の中の内容のひとつとまとまり。いくつかの文が集まってできている。段落の始めは一字下げて書き出し、その段落が終わると行をかえる。3年上 p42」を説明させたり説明したりする。	
6 ここが大事を読む。	10	ここが大事を読んで、この説明文の特徴について理解する。	
7 本時の学習の自己評価をする。	2	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

2 時間目 まんがの方法がいくつ紹介されているか考え、その説明が書かれている段落を整理する。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて「まんがの方法がいくつ紹介されているか数を確認しよう。」	5	・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して視写する習慣が身に付くように、2分程度たつたら、音読を開始することを予告しておく。	
2 本文の音読をする。	8	・全文を通読させる。読むときに、歯切れ良く音読することが、内容を理解する上で基礎となることを伝える。	
3 個人 一斉	5	・まんがの方法はいくつあるか数える。 数えたらノートにその数を書く。 ・全体で確認する。7つ	
4 7つのまんがの方法を整理する。 個人→ 少人数 一斉	25	・ノートに線を引かせ整理する準備をする。 線の引かせ方は、1ページの横線2本、縦線1本。1ページに2つの方法についてまとめさせていく。 ・⑤⑥ コマ	・7つのまんがの方法について整理している。(ノート・つぶや

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑦ フキダシ</li> <li>・⑧ 手書きの文字</li> <li>・⑨⑩ 人物の表情</li> <li>・⑪ 物語の進行</li> <li>・⑫⑬ 背景</li> <li>・⑭ ナレーター</li> </ul> <p>*教師は、一斉の場で構成が視覚的にも理解できるように、模造紙に1～16の番号を書いたものが準備できると無駄がない。(この模造紙は次の時間にも活用できる。)</p>	き) 読む
5本時の学習の自己評価をする。	2	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

3 時間目 まんがの方法をもとに文章の構成や表現の工夫をとらえる。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて 「まんがの方法をもとに文章の構成」を考えよう。	3	・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して視写する習慣が身に付くように、2分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。	
2 本文の音読をする。	5	・全文を通読させる。読むときに、歯切れ良く音読することが、内容を理解する上で基礎となることを伝える。	
3 文章の組み立ての基本である「はじめ・中・終わり」に分ける。 一番大切な段落 説明→1分 個人→3分 中 説明→1分 個人→3分 少人数交流→2分 一斉→7分	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に活用した模造紙を掲示する。</li> <li>・文章の構成を考えさせていくために、前時で整理したまんがの方法をもとに、はじめ・中・終わりに分けさせていく。</li> <li>・まず、この文章の中で一番大切な段落について考えノートにさせていく。</li> <li>・その理由も書かせる。</li> <li>・次に、既習事項をもとに中について考えさせていく。中は形式段落の何番から何番までか各自考えノートに書く。そのようにした理由も書かせる。</li> <li>・「なぜ、○段落から中になるのか、考えの交流をする。」</li> </ul> <p>*最初は隣通しで、次に、一斉で交流という手順を踏むことにより、はばプラになる。</p>	文章の組み立てについて考えている。 (ノート・観察) 読む
4 中のまとまりについて考える。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・③④ 共通した表現方法</li> <li>・⑤⑥ コマ</li> <li>・⑦ フキダシ</li> <li>・⑧ 手書きの文字</li> </ul>	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑨⑩ 人物の表情</li> <li>・⑪ 物語の進行</li> <li>・⑫⑬ 背景 ・⑭ナレーター</li> <li>・⑮ まんがは海外でも親しまれている。</li> </ul>	
5 本時の学習の自己評価をする。	5	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

4 時間目 作者の表現の工夫について考える。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて「作者の表現の工夫について考えよう」	2	・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して視写する習慣が身に付くように、2分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。	
2 本文の音読をする。	5	・全文を通読させる。読むときに、歯切れ良く音読することが、内容を理解する上で基礎となることを伝える。	
3 表現の工夫を3つ考える。 個人 5分 少人数 2分 一斉 8分	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の3つについて気づかせたい。</li> <li>・まず、工夫は何のためにするのか話し合わせたい。よみ手が理解しやすいように作者は表現の工夫をすることを伝えてから、考えさせていく。視点がはっきりすることにより、</li> <li>① どの方法も、説明・効果・具体例という説明の仕方をしている。</li> <li>② 読む人に語りかけるような文が多い。</li> <li>③ 絵で文をおぎなっている。</li> <li>*児童の意見を整理したら、p89を見てもよい。</li> <li>*別の方法として、最初にp89を見て、本当にそのような表現がなされているか確かめてもよい。</li> </ul>	表現の工夫を考えている。 (ノート・つぶやき)読む
3 表現の特徴を確認する。	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 説明・効果・具体例 これはコマを使うとよい。 コマとはの説明 効果 具体例</li> <li>② 語りかける これは、見つけやすい</li> <li>③ ここが大事で確認している。</li> </ul>	

4 本時の学習の自己評価をする。	5	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	
------------------	---	--------------------	--

5 時間目 まんがに対する自分の考えを3段落構成で書く。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて「まんがに対する考えを3段落構成で書く。」	5	・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、2分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。	
2 本文の音読をする。	5	・全文を通読させる。読むときに、歯切れ良く音読することが、内容を理解する上で基礎となることを伝える。	
3 p90を読んで、3段落構成の見通しをもつ。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1段落目 まんがについてどのように思っていたか。 (1時間目の学習を活用)</li> <li>・2段落目 まんがについて気づいたこと</li> <li>・3段落目 まんがについてどのように考えるようになったか。</li> <li>・3人の例が出ているので、書き出しは「わたしは『まんがの方法』を読むまでは」などを使ってよいことを助言する。</li> <li>・200文字くらいの作品でよいことを教師が意識する。</li> </ul>	
4 自分の考えを書く。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1段落目が書けたら挙手をさせ、賞賛する。また、段落をつける指導をする。</li> <li>・段落ごとに「○」をつけて評価していくと児童の進み具合も確認できる。</li> </ul>	3段落構成で考えをまとめている。(ノート・つぶやき)書く
5 出来上がった児童は交流する。 少人数 5 一斉 5	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来上がった児童は、後ろの空きスペースを活用させて、読み合う交流をさせる。随時出来上がったら活動に合流させる。</li> <li>・教師が指名して、一斉の場で紹介</li> </ul>	
6 本時の学習の自己評価をする。	5	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	